

敦賀気比 悲願の甲子園初制覇

甲子園——。

高校球児の目標の地であり、その決勝の舞台は、高校球児の誰もが夢見る憧れの舞台です。そんな夢舞台に、敦賀気比ナインは立ち、そして見事に悲願の優勝を勝ち取りました。敦賀気比ナインが躍動した春のセンバツ高校野球を振り返ります。

日本海側都市初の優勝

第87回選抜高等学校野球大会（センバツ）が3月21日から4月1日まで行われ、北信越代表として出場した敦賀気比高校が、チーム一丸となり頂点まで登りつめ、日本海側の都市に初めて紫紺の優勝旗を持ち帰りました。

篠原主将が選手宣誓

3月21日の開会式では、出場32校を代表し、敦賀気比の篠原涼主将が選手宣誓の大役を務めました。篠原主将は、短歌を織り交ぜ、集まった4万2千人の観衆の前で堂々と誓いました。

夏から続く快進撃

敦賀気比は、大会3日目の23日から登場。昨夏の甲子園ベスト4の勢いそ

た平沼投手は、強力・大阪桐蔭打線を相手に4安打の完封勝利を挙げ、夏の雪辱を果たすとともに、春夏通じて初めて決勝に進みました。

一丸となって掴んだ栄冠

全高校球児が目指す甲子園の決勝戦は、東海大四高校（北海道）との一戦。1塁側のアルプスタンドでは、吹奏楽部の力強い演奏に合わせて野球部員で結成される応援団やチャイロダーが熱気の高まった応援を披露。駆けつけた多くの観客らと一丸となり熱い声援を送り選手たちを盛り上げました。

試合は、初回に両チームとも初回に1点をとった後、お互いに譲らず1対1のまま終盤戦へ。8回表のピンチを凌いだ8回裏の攻撃で、準決勝で2本の満塁ホームランを放った



▲優勝旗を持ってグラウンドを行進する気比高ナイン



▲優勝旗を菊崎校長に手渡す篠原主将

のままに初戦の奈良大付属高校（奈良）にエースの平沼翔太投手を中心に守り抜き3対0で快勝すると、続く2回戦では、昨秋の明治神宮大会の覇者、仙台育英高校（宮城）に、2対1で競り勝ちました。準々決勝では、静岡高校（静岡）とベスト4をかけ熱戦を繰り広げ、9回裏に林中勇輝選手の劇的なサヨナラヒットで勝利。昨夏に続くベスト4に進出しました。

雪辱果たし初の決勝 夢舞台へ

準決勝は、昨夏の甲子園準決勝で敗れた因縁の相手、大阪桐蔭高校（大阪）と対戦。初回に松本哲幣選手が、レフトスタンドに満塁ホームランを放ち4点を先取すると、続く2回、またしても松本選手が春夏通じて史上初となる2打席連続の満塁ホームランを放ち一気に10対0とリードを広げました。大量得点の援護をもらっ

た松本選手が2ランホームランを放ち、勝ち越しに成功しました。最終回、最後のバッターをピッチャーゴロに打ち取ると、選手達はマウンドに駆け寄り喜びを爆発させました。アルプスタンドからは、球場全体が揺れるほどの大きな歓声と拍手が鳴り響きました。

高校野球100年目の春 紫紺の優勝旗を敦賀に

閉会式では、大会主催者から篠原主将に紫紺の優勝旗が、平沼投手に優勝杯が手渡され選手全員に優勝メダルが掛けられました。

長い戦いを勝ち抜いた翌日には、選手達は敦賀に帰校。紫紺の優勝旗や優勝メダルを手にした選手たちを、500人の市民が迎え、共に喜びを分かち合いました。



▲栄冠を掴んだ気比高ナイン。試合後は歓喜の涙を流しました。

気比高ナイン 夢と感動をありがとう！



【大会記録】

- 敦賀気比高校
 - ◆福井県勢・北陸勢初の甲子園制覇
- 松本哲幣選手
 - ◆2打席連続満塁本塁打=大会史上初
 - ◆個人1試合最多打点8点=大会新
 - ◆個人大会通算最多本塁打3本=大会タイ
- 平沼翔太投手
 - ◆5試合連続完投勝利

優勝パレードについて

多くの皆様からお問い合わせいただきました優勝パレードですが、生徒への教育的な配慮や事故防止等により日本高等学校野球連盟から、全国大会優勝校の祝賀行事などは自粛するよう通達がありましたので開催を見合わせていただきました。皆様のご期待に添えず申し訳ありませんが、ご理解いただきますようお願いいたします。

気比高ナイン 栄光までの軌跡

| |
|----------------------------|
| 1回戦 (3月23日) |
| 奈良大付 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 |
| 敦賀気比 0 1 1 0 0 0 1 0 x 3 |

| |
|----------------------------|
| 2回戦 (3月27日) |
| 仙台育英 0 0 0 0 0 0 0 1 1 |
| 敦賀気比 0 0 0 0 2 0 0 0 x 2 |

| |
|----------------------------|
| 準々決勝 (3月29日) |
| 静岡 0 0 0 0 3 0 0 0 0 3 |
| 敦賀気比 2 1 0 0 0 0 0 1 x 4 |

| |
|---------------------------|
| 準決勝 (3月31日) |
| 敦賀気比 4 6 0 0 0 0 1 0 11 |
| 大阪桐蔭 0 0 0 0 0 0 0 0 0 |

| |
|----------------------------|
| 決勝 (4月1日) |
| 東海大四 1 0 0 0 0 0 0 0 1 |
| 敦賀気比 1 0 0 0 0 0 0 2 x 3 |

平成27年度 当初予算

平成27年度の予算が3月市議会定例会で可決されました。

今年度の当初予算は、4月に市長及び市議会議員選挙が行われるため、政策的な事業を原則盛り込まない「骨格予算」となりますが、市民のみなさんの生活に支障が生じないよう、必要な経費を計上しました。

一般会計は、骨格予算の編成に加え、大型建設事業の終了等により、対前年度比7.4%減となりました。

当初予算総額

| | | |
|------|---------------|--------------|
| 一般会計 | 244億2,117万6千円 | (前年度比 △7.4%) |
| 特別会計 | 175億4,506万9千円 | (前年度比 7.5%) |
| 企業会計 | 97億1,601万2千円 | (前年度比 △4.7%) |
| 合計 | 516億8,225万7千円 | (前年度比 △2.3%) |

平成27年度に 取り組む主な事業

予算の配分については、都会への流出等により全国的に表面化してきている人口減少を食い止める「地方創生」に出遅れることなく取り組めるよう、本市の人口減少対策基本計画の方針に沿った事業に対し、4つのテーマに分けて重点的に配分を行いました。

産業振興策の充実

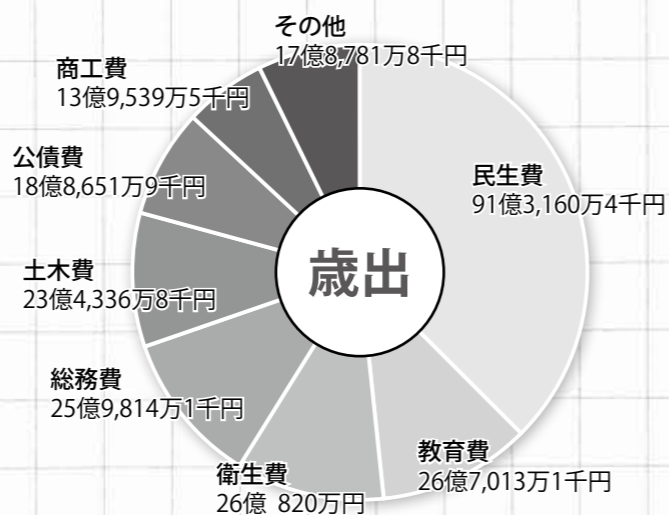
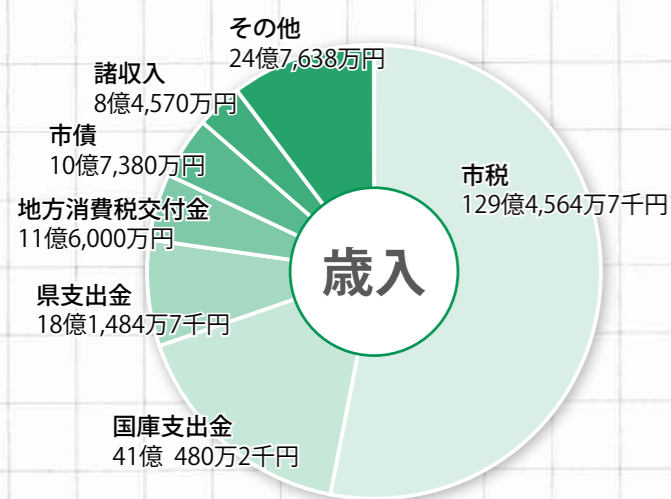


市内事業者の経営指導・育成や新商品開発支援を行い産業の発展に取り組みます。また、新たな雇用の確保と安定的な産業構造の構築を図るため、第2産業団地の整備を行います。

| | | |
|------|-----------------|-----------|
| 主な事業 | 小規模事業経営支援事業費補助金 | 740万円 |
| | 新商品チャレンジ事業費 | 182万6千円 |
| | 第2産業団地整備事業費 | 5,564万3千円 |

一般会計の内訳

歳入歳出予算 244億2,117万6千円



暮らしのどんどころにいくら使われている？
市民1人あたりにしてみると

一般会計での市民1人当たりの予算

360,503円

| | | | | | |
|-------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------|------------------------------------|
| 議会の活動に 4,867円 【議会費】 | 防災や公共交通の整備に 38,353円 【総務費】 | 高齢者・障がい者・子どもの支援 134,800円 【民生費】 | 保健やごみ処理に 38,502円 【衛生費】 | 労働者の支援に 2,048円 【労働費】 | 農業・林業・水産業の振興 6,524円 【農林水産業費】 |
| 商工業・観光の振興 20,599円 【商工費】 | 道路・橋などの整備・維持管理 34,593円 【土木費】 | 消防や救急に 12,922円 【消防費】 | 学校・社会教育、文化・スポーツに 39,416円 【教育費】 | 市の借金の返済に 27,849円 【公債費】 | 予算外の支出の備えに 30円 【予備費】 |



※一般会計の予算額を平成27年2月27日現在の敦賀市の人口67,742人で割ったものです。

子育て支援の充実

放課後児童クラブや地域子ども教室の拡充をはじめ、妊婦や乳幼児対象の各種健診、育児相談や訪問事業等の支援を行い、子育て世代の方が安心して、子どもを産み育てるための環境づくりに取り組めます。



| | | |
|------|---------------|-------------|
| 主な事業 | 子ども医療費助成費 | 1億6,406万5千円 |
| | 放課後児童健全育成事業費 | 3,779万2千円 |
| | すこやか育児サポート事業費 | 410万円 |

緊急経済対策の継続

経済対策の一環として、交流人口の増加に取り組めます。秋の北陸デスティネーションキャンペーンに合わせて誘客の促進を図るため、赤レンガ倉庫や駅前広場の整備、イベントの開催などを行います。



| | | |
|------|------------------------|-------------|
| 主な事業 | 赤レンガ倉庫整備事業費 | 4億7,458万5千円 |
| | 北陸デスティネーションキャンペーン推進事業費 | 509万3千円 |

人材育成の充実



若者世代の人口が大きく減少する現状を重視し、市立看護大学の運営支援をはじめ、看護師等の医療従事者を目指す学生に対し、修学資金の貸付を行うなど、人材育成の取り組みを行います。

| | | |
|------|--------------|-------------|
| 主な事業 | 公立大学法人運営費交付金 | 3億7,731万1千円 |
| | 医療従事者修学資金貸付金 | 4,080万円 |

その他の主な事業



重点施策以外では、指定避難所のテレビ回線の整備や博物館の重要文化財指定に向けた調査などを行います。

| | | |
|------|----------------------|-----------|
| 主な事業 | 防災資機材整備事業費 | 1,335万8千円 |
| | 一般廃棄物最終処分場基本構想策定等事業費 | 2,100万円 |
| | 博物館建物重要文化財指定推進事業費 | 516万8千円 |
| | 松原公民館建設事業費 | 2,986万1千円 |